

同窓会だより

安芸中・高校
第37号
同窓会事務局発行
H31.3.1



ご挨拶

同窓会会長 半田 久未夫

平成最後の年が明けました。四月には新しい元号も決まりますが、同窓会の皆様にはますますご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。日頃より同窓会の運営、活動にご協力、ご支援をいただいておりますことに深く感謝いたします。

その新元号の二年目、二〇二〇年には本校が開校百二十年を迎えます。記念行事の一つである会員名簿は、昨年四月に発刊されました。学校の歴史や卒業生、教職員の思い出などを綴った記念誌発行の準備も進めています。また、記念式典や催し物などの準備にも取り組んでいます。こうした校史の節目に当たって、今、県立安芸中・高校は、大きな変革期を迎えています。県教育委員会が検討している高校再編問題です。

昨年十二月に県教委が策定した県立高校再編振興計画により、四年後までに県立安芸中・高校と県立桜ヶ丘高校を統合します。少子化による生徒減に伴い、県東部の「拠点校」にするのが狙いで、校名は現在の「安芸中・高校」とし、校舎は桜ヶ丘高校の敷地に移転、増設・整備を進めるというものです。校舎の移転は、近い将来起こると想定される南海地震の津波に備えて、高台にある桜ヶ丘にと考えたのでし

う。

現在の安芸中・高校の校舎の保存や利用方法は、今後の検討課題ですが、注目したいのは、これまでも増して「拠点校」の色彩を強めるかということです。新しい高校は、普通科に加え、工業科・商業科があり、総合高校の観があります。学力向上は言うまでもなく、スポーツ・文化活動など教育内容の充実を図らなければなりません。

同時に期待したいのは、安芸中・高校が存在を高めることで、生徒増に限らず、人口流出を止めるダムの役割を果たせないかということ。安芸地域は、温暖な自然に恵まれているのに加え、すばらしい人材を育んできた風土があります。岩崎弥太郎ら経済人は言うまでもなく、書家や音楽家、ジャーナリストなど、文化人を多く輩出しています。安芸中・高校の卒業生名簿をめぐってみると、各界で活躍した人物が数多くいることは周知の通りです。

「拠点校」と言えば、かつては、東は東洋町野根、甲浦、西は南国市周辺からも入学する生徒が少なくありませんでした。教育制度や交通事情が変わったというものの、東洋町の生徒は徳島県の高校へ、また東部地域から高知市内の私立高校へ流出している現状は惜しまれる限りです。

今回の桜ヶ丘高校との統合は、こうした状況をふまえ、安芸中・高校を一層充実させて生徒増を図り、「拠点校」再生の願いを込めていることは前述の通りですが、私たち同窓会としても、母校と地域の誇りと歴史を再認識し、従来にも増しての支援をしたいものです。

今年も各地で同窓会総会が開かれます。東海地区は二月に開催され、関西・東京・本部総会はいずれも七月に予定されています。各地とも多くの卒業生に出席を呼び掛けていますが、年々出席者が減っているのが実情です。とりわけどうすれば若年層に足を運んでもらえるかが課題です。数年

平成三十年度 同窓会総会開催される

さる七月二十八日(土)、安芸市ホテルタマイにて、平成三十年度同窓会本部総会が開催されました。

まず、総会に先立ち、昭和四十三年卒業生で、東海支部長の中澤(旧姓 有澤)隆吉氏を講師にお招きし、「航空宇宙産業の概況」と題して記念講演が行われました。

その後、総会では、事務局から平成二十九年年度会務報告、経常会計並びに特別会計

前から、関西・東京では大学生への呼びかけを試みています。世代を越えて親睦を深め、同窓会への関心を高めてもらう意義は大きく、今後も続けたいと思います。地区によっては各界で活動されている卒業生に講演を依頼しており、好評のようです。役員の方には何かとご苦労をかけますが、母校への支援と同窓生の絆を深めるために、さらなるご尽力を願ってやみません。最後になりましたが、関西同窓会の会長を長い間続けられた水上(旧姓山下)忠義氏が昨年亡くされました。ご尽力に感謝し、ご冥福をお祈りいたします。

決算報告が行われた後、平成三十年度事業計画、経常会計予算並びに特別会計予算等の審議が行われ、了承されました。また、二年後に創立百二十年を迎えるにあたって、祝賀式典や実行委員会組織の構成、主な業務に関する議案が提案され、了承されました。

今回の総会には、西澤邦輔顧問をはじめ、東京同窓会柏戸正英会長、関西同窓会水上忠義会長、高知支部吉岡成支部長のご出席を賜り、総勢六十五名での開催となりました。また、総会終了後は懇親会が開かれ、楽しく和やかな時間を過ごすことができました。懇親会の最後には、恒例の校歌斉唱が行われ、盛会の内に本年度本部総会が終了しました。

今後は、百二十年記念事業を盛り上げていくためにも、いかに同窓生の皆様の母校への関心を高め、総会や記念事業に参加していただくかが課題です。事務局もさらなる情報発信に努めてまいりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



安芸中高同窓会総会風景

同窓会総会記念講演

演題 「航空宇宙産業の概況」

講師 中澤 隆吉氏 (旧姓 有澤) (第19回 昭和43年卒業)



講演概要

- I 航空機産業について
II 宇宙機産業について
III ミサイル防衛について

中澤氏は、平成四十三年に安芸高校を卒業し、大阪大学工学部を卒業後、川崎重化学工業株式会社勤務されてきました。今回は、川崎重化学工業航空宇宙カンパニー(岐阜工場)で、航空機の構造設計に携わっておられた頃のご経験を中心にお話いただきました。お忙しい中、講師を快諾いただきましたこと心よりお礼を申し上げます。

I 航空機産業について

◆日本国内・世界の航空機数

日本の航空機産業では、防衛航空機や宇宙機は企業における産業面でのニーズが低いこともあって、民間旅客機の世界を中心に考えることが多いようです。航空機数は、民間機が655機、防衛省関係機877機、航空自衛隊が695機、海上自衛隊が175機、陸上自衛隊機が7機、海上保安庁関係機26機で、総数1558機です。世界の民間航空機は、ジェット機が24201機、ターボプロップ機(ガスタービンエンジン)のプロペラ機が3404機、ビジネスジェット機が20502機、総数27605機で、ほとんどはアメリカのものであります。

◆民間機について

日本の民間機の大半はボーイングの機体ですが、最近ではエアバスやボンバルディアの機体も増えています。航空機の胴体を断面図で見ると、世界で最も大きなエアバスA380の機体で、層2階になっていて、下に10席、上8席あります。これはエコノミークラスですが、ビジネスクラスやファーストクラスは、席数が

が少なくなります。旅客機の定員は、国際線では3クラスをベースに、国内線では2クラス、小さくなれば1クラスになります。最近ではエコノミーとビジネスの間に、プレミアムエコノミーというクラスがあり、4クラス構成です。

◆航空自衛隊機について

航空自衛隊機は695機で、戦闘機が最も多く、他には輸送機、空中給油機、早期警戒機、練習機、探査救難機があります。戦闘機のF-35Aは、三菱の小牧で最終組立を行っています。実際には日本政府と米政府との間のFMS(対外有償軍事援助)契約で、有償で購入入しています。輸送機・空中給油機は、政府専用機のB747-400が2機ありますが、来年度から次期政府専用機としてB777-300ERが使用される予定です。

◆海上自衛隊機について

海上自衛隊機には、固定翼機17機と回転翼機13機があります。固定翼機のメインは対潜哨戒機で、ロッキード社からのライセンス生産を行っているP-3C等があります。新明和工業が開発した救難機US-2は、機数は少ないものの特徴ある機体です。他には、多用途機、輸送機、練習機、無人機等があります。

◆日本のヘリコプターについて

ヘリコプターは総数約1400機で、民間機と自衛隊機に分けられます。民間機は官公庁用が234機で、内訳は消防防災ヘリ、警察ヘリ、海上保安庁ヘリ、国交省地整局ヘリです。他に、事業用ヘリ、自家用ヘリがあります。自衛隊機は、陸上自衛隊機、海上自衛隊機、航空自衛隊機の総数が約650機です。

消防防災ヘリコプターの例として、アメリカのベル社から購入したBK-117C-2は、川崎重工業とユーロコプター・ドイツとの国際共同開発で開発された機体です。高知県の消防防災ヘリは、「りょうま」JS76Bと「おとめ」AW-139があります。他県の機体よりもやや大ぶりな、海岸線が長い高知県の地理的な条件を加味して、高度距離の長い機体が配備されています。

自衛隊ヘリコプターで最も多いのは、陸上自衛隊の多用途ヘリです。対戦車用は普通科部隊の実際の現場で使用される機体で、ベトナム戦争でも使用された汎用性の高い機体です。輸送用に使うCH47JAは非常に大きく、プロペラがタンデム型で、22tとヘリの中で最も大きな輸送量です。海上自衛隊機の対潜哨戒SH-60は、護衛艦に積まれている機種で、航空自衛隊機は、輸送や救難の際に使用されています。

ドクターヘリは、42都道府県に52機配備されています。東京都、石川県、福井県、京都府、香川県には、都道府県所有のヘリがあります。高知県には、高知医療センターに川崎のBK117C-2があり、高松の四国航空が受託運航しています。また、TVドラマ「コードブルー」で使用されたMD902が有名です。高知医療センターにあるBK117、EC135は、後ろ側に観音開きのドアがあり、担架の搬入がしやすい構造です。

◆日本の航空宇宙産業(生産額の推移)

現在の日本の航空宇宙産業の生産額は、航空と宇宙とを合わせて約2兆円です。防衛航空機、民間航空機、宇宙機の3つになります。防衛関係は伸びておらず、民間航空機の売り上げが平成23年辺りから一気に伸びています。民間航空機産業の発展が、日本の航空宇宙産業の拡大に大きく寄与しています。

◆国内の航空機の事業内容

防衛航空機の機体・エンジンに関する事業内容は、①国内開発機・エンジン製造、②ライセンス生産、③定期検査・整備、④補用品の対応です。

民間航空機の機体・エンジンに関する事業内容は、①国内開発・製造、②国際共同開発ですが、現在のメインは国際共同開発で、機体については、日本航空機開発協会(JADC)と民間航空機会社(CACC)の2社が、ボーイングの窓口です。JADCは、三菱、川崎、スバル、新明和工業、日本航空機の5社で開発を行い、量産に入ると、CACCが行うという二段構えで共同開発を行っています。エンジンも日本航空機エンジン協会(JEAC)という組織があり、三菱、川崎、IHIの3社で開発を行っています。

◆主要国の航空宇宙産業との比較

主要国の生産額を比較すると、圧倒的に高いのはアメリカで、日本は売り上げ規模としては非常に低く、2兆円程度です。国の経済規模GDPに対する比率で見ると、他国は2~1%程度の比率ですが、日本の場合0.4%と、経済規模に占める割合が非常に小さいのが特徴です。

◆日本の航空宇宙産業の特徴

日本は海外に比べて、①売り上げ・生産等の事業規模が小さく、特に装備品関係では、圧倒的に欧米企業の力が強いのが現状です。日本では企業の統合・合併も進んでいません。②「武器輸出三原則」に基づく海外との取引に制限があることや、外為法による規制による海外との共同開発に制限があり、実績が少ないことも挙げられます。また、日本では、③航空宇宙事業は企業全体の中の一事業・部門でしかありません。④関係省庁が、製造関係は経済産業省、審査関係は国土交通省、JAXAなど、研究開発関係は文部科学省、宇宙関係は内閣府と、多岐にわたっていることも特徴です。

◆旅客機の構成品

旅客機の構成品には、機体構造(胴体、主翼、尾翼)、エンジン、装備品の3つがあります。

ます。主翼の下には、エンジンを取り下げられるのにパイロンが付いていて、ナセルの中にエンジンが挿入されています。さらに、垂直尾翼と水平尾翼があり、操縦するために必要な動翼があります。また、機体の後ろの方にジェットエンジンと発電機がセットになった補助動力装置が付いています。これは、メインエンジンが始動・停止する際に、機内に電力を供給するためのものです。

また、海外では12000m上空を飛ぶため、酸素が少なくなり気温もマイナス40〜50度と低下します。そのため客室内の空調管理を行い与圧するための与圧・空調装置や、防水装置、着陸装置、火災警報・消火装置、緊急酸素・脱出装置といった保命装置など、多数の装置が機体を構成し安全を支えています。

◆民間旅客機の産業構造

まず航空会社があり、航空機メーカー、エンジンメーカーがあります。基本的にエンジンが機体に取り付けています。例えば、三菱のMRJやリージョナルジェット機は、1機種しかなく選択の余地がないので、航空機メーカーが決めたエンジンで機体を購入するしかありませんが、大型の機体になると、2〜3種類付けられるような選択肢があります。

◆民間旅客機事業の特徴

部品数は約300万個、1機の価格が20〜500億円、新規開発が10〜14年に一度、開発期間が初飛行まで4年、初納入まで5年と言われています。開発費は1千億〜1兆円です。

また、航空機産業はグローバル産業で、運航も製造も国を越えて行われます。部品も世界規模で安い企業から購入し、共同開発も活発に行われています。

航空機産業には、政治的・外交的関わりが大きい特徴です。また、開発費が大きく投資の回収期間が長いこと、企業としてのリスクが非常に大きいことも挙げられます。製造面でも安全性の高さが要求され、現在三菱のMRJも非常に苦労しているのが機体の型式証明です。国交省内に審査のための人材が

育っていないことや、審査に必要な書類作成に慣れていないことから欧米主導の状態です。また、航空機は安全性を担保するための品質要件が非常に厳しい産業です。一般的には、他の産業でもISO9001があります。加えてISO9100という航空機独特の審査規定があります。さらに、MADCAPという特殊工程の国際基準があり、これらの資格取得が必要であるため、中小企業も参入に苦勞しています。

◆グローバル・サプライチェーンの一例

世界中の多くの国・企業が共同して、一つの機体を作っています。例えば、エンブレルERJ170/190は、川崎重工業が主翼を、前部・後部胴体はフランス、中部胴体と翼胴、機首は自社が、後部はアメリカが担当するというように、世界各地で造られたものを集めてブラジルで組み立てています。

◆ボーイングとの国際共同開発

現在、共同開発のメインは787で、月産12機ですが、今後増加が見込まれています。日本の分担35%で、前胴が川崎重工業、中央翼は三菱が担当しています。787は主翼と胴体から従来のアルミ製ではなくCFRP製です。造り方も他の機体とは全く違って、胴体を輪切りにした形で、八つ橋状にアルミの板を六分割したものをつなぎ合わせます。炭素繊維の樹脂が絡まった特殊なテープを巻きながら造っていくため、胴体をそのまま運ばなければなりません。ボーイングの超大型貨物機ドリームリフターを使用し、中部国際空港からアメリカまで輸送しています。

三菱航空機のMRJ機は、90人乗りの90と70人乗りの70があります。2008年の3月に開発が始まり、当初2013年だったのが2020年納入予定となり、開発に7年も費やしています。開発費用も当初1千5百億でしたが、4倍近い6千億になるそうです。現在の受注機数は400機余りですが、今後どれくらい増加するかが注目されています。

◆MRJの主要サプライヤー

MRJの開発に関わる企業の約7割は海外

企業です。エンジンはアメリカ、動力関係は台湾、電源装置、コクピット、内装関係はアメリカが担当し、国内企業では、東レ、三菱住友精密、島津等が関わっています。客室のフロアカーペットやカーテンは、劇場の緞帳や新幹線のシート、ホテルの絨毯を専門に製造する京都の龍村が担当し、内装関連や照明は小糸が担当しています。シートは、マツダの子会社である広島デルタ工業が優れた製品を提案し、MRJ機での採用を目標としていましたが、認証取得のノウハウや実績がなかったために応募には至りませんでした。最終的には海外企業のシートが採用になり、参入機会を逃すことになりました。

◆競争の激化や事業環境の変化

これまでボーイングとエアバスは、機体開発の上で競争関係にありました。エアバスはボーイングより開発開始が遅かったこともあって、短期間でさまざまな機種を開発してきました。21世紀に入ってから、2階建てのA380や、炭素繊維を5割以上使用したA350などを開発し、一方、ボーイングは747、737MAX、777Xを開発中です。現在、エアバスは、ボーイングが767の後継ラインをいつ開発するか、状況を見ながら対抗機体の開発を検討中です。

一方、ボーイングはNew Midsize Airplane

という、中型機の機体を開発対象にしています。B737MAXは低燃費型のエンジンに変えた機体ですが、それに対抗しA320も同様のものを既に開発中です。このように開発をいつスタートさせるかが両社の課題であり、互いに状況を見ながら進めているところです。

◆中型機・大型機・リージョナルジェット市場への新参者

ロシアと中国が民間航空機の開発に力を入れており、中型機市場への新規参入としては、ロシアのUACがMS-21を、中国のComacがC919を製造しています。ボーイングやエアバスのB737、A320と競合する機体で、今後どれだけ世界的なシェアを占めていくかが注目されています。さらに大型機の開発にも乗り出している、中国とロシアの合弁企業CRA

IC社が共同で開発しています。

カナダのボンバルディアとブラジルのエンブレルも対抗関係にあり、50人乗りから130人乗りの機体までを同じようなペースで開発してきました。しかしながら、現在ボンバルディアがエアバスと協定し、エンブレルが民間機部門をボーイングに売却し協業契約するという話が進んでおり、対立構造にも変化が見られています。

リージョナルジェット機に関しても、エアバスのAグループとボーイングのBグループ、ロシアと中国のCグループという大きな三つのグループが世界市場を占めています。三菱は今後、MRJを世界市場でどのように展開していくかが大きな課題ですが、これらの3グループと競合しなければならぬという非常に厳しい状況にあります。

◆今後の技術

①炭素繊維複合材(CFRP)の運用部位の拡充及び新しい成形法
現在大きな圧力窯で熱と圧力をかけて成形していますが、より簡単な成形方法が検討されています。

②航空機の電動化の推進

「電動アクチュエータ」や、前輪に自走式のモーターを付けて機体を動かす「自走式前脚輪」、「燃料電池」の開発が進められています。

③組立ラインの自動化、ロボット化の推進

航空機の製造では、安全性を考慮して部材と部材とをリベットで接続しています。機体に亀裂ができた時、溶接の場合は亀裂が進みますが、リベット止めの場合亀裂が止まるという利点があります。その分組み立てに時間を要するため、製造ラインのロボット化が進められています。

④部品加工の3Dプリンティング技術の拡充
エンジン部品は形状が複雑であるため、3Dプリンティングが行われています。現在の製作加工は大きな塊から削っていくので、約9割が削りカスになってしまうことから、積層しながら部品を造っていくという方法へと転換されています。

各支部との交流

◆**関西同窓会総会**
 平成三十年七月七日(土)
 会場 大成閣
 (大阪市中央区東心斎橋)

◆**東京同窓会総会**
 平成三十年七月十四日(土)
 会場 アルカディア市ヶ谷
 (東京都千代田区九段北)

◆**本部同窓会総会**
 平成三十年七月二十八日(土)
 会場 ホテルタマイ(安芸市)

◆**東海支部同窓会総会**
 平成三十一年二月三日(日)
 会場 アイリス愛知
 (名古屋市中区丸の内)

※高知支部同窓会総会は来年度開催予定

本年度も本部、各支部同窓会総会を通して、たくさんの同窓生との交流が行われました。

総会後の懇親会では、旧制安芸中学、安芸高等女学校、安芸高校歌を合唱するなど、旧交を温めました。全国各地で社会に貢献される同窓の皆様は今後ますますのご健勝ご活躍をお祈り申し上げます。

来年度は、全国五カ所での同窓の集いが予定されています。皆様のご参加を期待しています。

東京同窓会総会 平成30年7月14日(土) 会場 アルカディア市ヶ谷 (東京都千代田区九段北) | **関西同窓会総会** 平成30年7月7日(土) 会場 大成閣 (大阪市中央区東心斎橋)



東海支部同窓会総会 平成31年2月3日(日) 会場 アイリス愛知 (名古屋市中区丸の内) | **同窓会本部総会** 平成30年7月28日(土) 会場 ホテルタマイ(安芸市)



平成30年度 各支部代表

| | | | |
|--------|-------|------------|------------------------------|
| 東京同窓会長 | 柏戸 正英 | 高普2(S26卒) | 〒260-0854 千葉県千葉市中央区長洲2-21-16 |
| 関西同窓会長 | 水上 忠義 | 高普2(S26卒) | 〒546-0013 大阪市東住吉区湯里6-14-18 |
| 東海支部長 | 中澤 隆吉 | 高普19(S43卒) | 〒509-0131 岐阜県各務原市つつじが丘8-36 |
| 高知支部長 | 吉岡 成 | 高商13(S44卒) | 〒781-0015 高知市薊野西町町3-20-15 |

平成30年度 同窓会入会式



二月十二日火曜日、本校格技場にて、平成三十年度第七十回卒業生八十一名(男子三十九名・女子四十二名)による同窓会入会式が行われました。

最初に、同窓会副会長の長澤千加様より、ご挨拶をいただきました。その後、事務局より、本部・支部総会の来年度開催予定日の確認や事務連絡が行われ、各ホーム男女一各ずつ選出された同窓会連絡委員が紹介され、終了しました。

関西同窓会 水上忠義会長がご逝去



関西同窓会会長の水上忠義様が、昨年十一月末にご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

水上会長には、旧来の同窓会近畿支部長として、関西の同窓生のまとめ役となってお世話をいただきました。一

卒業後は、高知県外に進学・就職する卒業生もいます。毎年、各支部で開催される支部総会に参加させていただくことがあると思いますが、同窓生の皆様、どうぞよろしくお願います。

同窓会連絡委員

| | | |
|-----|-------|-------|
| 1 H | 川村 樹生 | 中平 光虹 |
| 2 H | 中島 隆智 | 松本 夏実 |
| 3 H | 山崎 充哉 | 植田 杏実 |
| 4 H | 藤岡 涼大 | 西岡 美波 |

連絡委員の皆さんには、主に事務局からの情報をクラスメイトに連絡する窓口となっております。よろしくお願います。



平成30年度同窓会理事

| | 常任理事 | 役職 | 氏名 | 卒業年 |
|---|------|-----|-------|--------------|
| 1 | ○ | 顧問 | 西村 俊彦 | 旧中 37 (S.16) |
| 2 | ○ | 〃 | 西澤 邦輔 | 旧中 42 (S.20) |
| 3 | ○ | 会長 | 半田久米夫 | 高普 7 (S.31) |
| 4 | ○ | 副会長 | 長澤 千加 | 高普 7 (S.31) |
| 5 | ○ | 〃 | 曾我 章 | 高商 10 (S.41) |

| | 常任理事 | 役職 | 氏名 | 卒業年 |
|----|------|-----|-------|--------------|
| 6 | ○ | 副会長 | 小松 孝 | 高普 17 (S.41) |
| 7 | ○ | 〃 | 樋口 孝子 | 高普 29 (S.45) |
| 8 | ○ | 〃 | 門脇 茂利 | 高普 24 (S.48) |
| 9 | ○ | 監事 | 谷口 美洋 | 高普 14 (S.38) |
| 10 | ○ | 〃 | 佐々木 愛 | 高定 19 (S.43) |

| 常任理事 | 役職 | 氏名 | 卒業年 | 常任理事 | 役職 | 氏名 | 卒業年 | 常任理事 | 役職 | 氏名 | 卒業年 | |
|------|--------|--------|-------------|--------------|----|--------|--------------|--------------|----|--------|--------------|--------------|
| 11 | ○ | 理事(旧女) | 佐藤 満子 | 旧女 23 (S.20) | 38 | 理事(高校) | 阿部望東男 | 高商 7 (S.38) | 65 | 理事(高校) | 畠中 龍雄 | 高普 28 (S.52) |
| 12 | 〃 | 〃 | 北村霞代子 | 旧女 24 (S.22) | 39 | 〃 | 白川 昌弘 | 高普 15 (S.39) | 66 | 〃 | 門田 禎子 | 高普 28 (S.52) |
| 13 | 理事(高校) | 有澤 駒雄 | 高普 2 (S.26) | 40 | 〃 | 曾我 幹雄 | 高普 15 (S.39) | 67 | 〃 | 松本 健 | 高普 29 (S.53) | |
| 14 | 〃 | 仙頭 一良 | 高普 2 (S.26) | 41 | ○ | 広松紘三郎 | 高普 15 (S.39) | 68 | 〃 | 横田 毅 | 高普 30 (S.54) | |
| 15 | 〃 | 池田 文七 | 高普 3 (S.27) | 42 | 〃 | 福留史満子 | 高普 16 (S.40) | 69 | 〃 | 畑中 英子 | 高普 30 (S.54) | |
| 16 | ○ | 〃 | 富田 哲郎 | 高普 3 (S.27) | 43 | 〃 | 西岡 真喜 | 高普 17 (S.41) | 70 | 〃 | 中井 秀次 | 高普 30 (S.54) |
| 17 | 〃 | 〃 | 植田 康夫 | 高普 3 (S.27) | 44 | 〃 | 小原 重松 | 高普 18 (S.42) | 71 | 〃 | 安養寺 仁 | 高普 31 (S.55) |
| 18 | 〃 | 〃 | 有沢 清信 | 高普 6 (S.30) | 45 | 〃 | 小松むつ子 | 高普 18 (S.42) | 72 | 〃 | 小松 志乃 | 高商 24 (S.55) |
| 19 | 〃 | 〃 | 織田庄之佑 | 高普 6 (S.30) | 46 | 〃 | 有沢精一郎 | 高商 11 (S.42) | 73 | 〃 | 小松 司 | 高商 24 (S.55) |
| 20 | ○ | 〃 | 井津 哲彦 | 高普 6 (S.30) | 47 | ○ | 浜川 洋 | 高普 19 (S.43) | 74 | 〃 | 藤田 剛志 | 高商 24 (S.55) |
| 21 | 〃 | 〃 | 井上 正道 | 高普 7 (S.31) | 48 | 〃 | 東 博幸 | 高普 19 (S.43) | 75 | 〃 | 柴原 享一 | 高普 32 (S.56) |
| 22 | 〃 | 〃 | 杉本 圭弘 | 高普 7 (S.31) | 49 | ○ | 西岡 良介 | 高定 10 (S.44) | 76 | 〃 | 中島登喜雄 | 高普 32 (S.56) |
| 23 | 〃 | 〃 | 富田 義輝 | 高普 7 (S.31) | 50 | ○ | 森尾 傳 | 高普 20 (S.44) | 77 | 〃 | 小原 昌信 | 高商 26 (S.57) |
| 24 | 〃 | 〃 | 仙頭 健子 | 高普 7 (S.31) | 51 | 〃 | 須賀 和男 | 高普 20 (S.44) | 78 | 〃 | 正木 敏政 | 高普 33 (S.57) |
| 25 | 〃 | 〃 | 五百蔵 溜 | 高普 8 (S.32) | 52 | ○ | 大井 範男 | 高普 20 (S.44) | 79 | 〃 | 中山 良幸 | 高商 26 (S.57) |
| 26 | 〃 | 〃 | 小松 秋秀 | 高普 8 (S.32) | 53 | 〃 | 山崎 豊 | 高商 13 (S.44) | 80 | 〃 | 岡村 明彦 | 高普 33 (S.57) |
| 27 | 〃 | 〃 | 筒井 泉 | 高普 1 (S.32) | 54 | 〃 | 吉岡 成 | 高商 13 (S.44) | 81 | 〃 | 川口多喜美 | 高普 33 (S.57) |
| 28 | 〃 | 〃 | 胎中 克彦 | 高商 2 (S.33) | 55 | 〃 | 石建 守 | 高普 21 (S.45) | 82 | 〃 | 竹村 修文 | 高普 35 (S.59) |
| 29 | 〃 | 〃 | 藤島 善之 | 高普 10 (S.34) | 56 | 〃 | 富田 毅 | 高普 22 (S.46) | 83 | 〃 | 清岡 直樹 | 高普 35 (S.59) |
| 30 | ○ | 〃 | 小原 章 | 高普 10 (S.34) | 57 | 〃 | 佐々木範明 | 高普 24 (S.48) | 84 | 〃 | 川竹三千代 | 高普 37 (S.61) |
| 31 | 〃 | 〃 | 足達 雅彦 | 高普 11 (S.35) | 58 | 〃 | 佐藤 章 | 高普 24 (S.48) | 85 | 〃 | 大坪 浩久 | 高普 38 (S.62) |
| 32 | 〃 | 〃 | 有光 忠昭 | 高普 12 (S.36) | 59 | 〃 | 萩野 淑子 | 高商 24 (S.48) | 86 | 〃 | 西岡 智子 | 高普 39 (S.63) |
| 33 | 〃 | 〃 | 井上 勝二 | 高普 12 (S.36) | 60 | 〃 | 古井 和広 | 高商 18 (S.49) | 87 | 〃 | 清本 祥一 | 高普 39 (S.63) |
| 34 | 〃 | 〃 | 長野 和賀 | 高普 12 (S.36) | 61 | 〃 | 中川 敬三 | 高商 18 (S.49) | 88 | 〃 | 山崎 美和 | 高普 41 (H.2) |
| 35 | 〃 | 〃 | 浜川 和彦 | 高普 13 (S.37) | 62 | 〃 | 戸田 浩 | 高普 26 (S.50) | 89 | 〃 | 岡村 佳子 | 高普 43 (H.4) |
| 36 | 〃 | 〃 | 手島 敬子 | 高普 13 (S.37) | 63 | 〃 | 前田 信幸 | 高普 26 (S.50) | 90 | 〃 | 廣末まどか | 高普 46 (H.7) |
| 37 | 〃 | 〃 | 有光 健夫 | 高普 14 (S.38) | 64 | 〃 | 島津 和弘 | 高普 27 (S.51) | | | | |

安芸中・高等学校と 安芸桜ヶ丘高等学校との 統合が決定！

平成三十年十二月県議会で、安芸中・高等学校と安芸桜ヶ丘高等学校の統合が決定しました。詳細については、左記再編振興計画で発表されまし
たので、「ご報告いたします。

県立高等学校再編振興計画

「後期実施計画」

(平成31年度～平成35年度) について
(東部地区統合校のみ概略)

標記実施計画の中で、安芸中学校・高等学校と安芸桜ヶ丘高等学校との統合を決定した。県教委は、両校を統合し、適正規模を維持した学校を設け、東部地域の活力ある拠点校とし、安芸桜ヶ丘高等学校の敷地に統合後の学校を設置する。

統合に向けた考え方として、東部地域の生徒減少が続く中であっても、より良い教育環境を保証することができる適正規模の、一学年四学級以上の学校を維持することが重要であるが、安芸高等学校は三学級規模、桜ヶ丘高等学校は一学級規模となっている。

また、安芸中学校・高等学校は、南海トラフ地震による津波被害で長期浸水が予想されている地域であり、校舎自体が海岸に面している地域もあり、他の県立中学校・高等学校よりリスクが高いことや被災後の早期の学校再開を考えると移転が望ましい。

目指す姿として、統合後の中高一貫教育校は、進学指導の実績がある安芸高等学校と、就職に強い安芸桜ヶ丘高等学校のそれ

ぞれの強みを生かし、さらに発展させることで、東部地域の進学拠点校として大学進学等にも対応できる学力を保証するとともに、体験的な活動を通して、勤労観・職業観を養い、進学から就職まで、生徒の多様な進学希望に対応する。

統合後の高等学校は、全日制の課程で普通科三学級、工業科一学級(機械・土木コース)、商業科一学級の一学年五学級規模とする。また、併設中学校は二学級規模を予定しており、併設高等学校の三つの学科に進学できることとする。

統合にあたっては、安芸高等学校、安芸桜ヶ丘高等学校とも平成三十四年度入学生から学科改編を行い、新教育課程による教育内容を実施し、統合は平成三十五年四月一日に実施する。

統合後の校名については、「安芸中学校・高等学校」とする。

その他の校章・校歌・制服・スクールカラー等の取扱いについては、両校の学校関係者等の意見も聴取しながら、制服については平成三十一年十月末、それ以外の校章等については、平成三十三年度末までに県教育委員会で検討し、決定する。

はじめまして……まつかぜちゃんです！

～安芸中・高等学校シンボルキャラクター決定～

2020年に迎える創立120周年記念イベントの一環として、昨年5月に安芸中・高校のシンボルキャラクターを募集しました。全校生徒や教員から26の応募があり、全校生徒・教職員による投票を経て、4年1Hの佐々木真知さんの作品が選ばれました。さらに、各クラスから名前を募集し、3年1H、6年3Hから提案された「まつかぜちゃん」に決定しました。

その後まつかぜちゃんは、5年2Hの依光航輝くんによってデジタルデータ化され、さまざまところで活躍しています。もし、「こんなグッズがあればいいな」というアイデアがあれば、同窓会事務局までお寄せください！



～キャラクター紹介～

松ぼっくりと波をモチーフにしたキャラクター。安芸市の特産であるちりめんじゃこが好物。海のように大らかな性格で、潮風に当たっていると落ち着くらしい。何時間でも飽きずに見ていられるくらい海が好き。



応募時のデザイン



選考風景

「同窓会だより」 題字リニューアル！

今号より表紙の題字を新しくしました。書道部の5年3H梶原有未さんにお願ひし、書いてもらった6つの書体の中から、中国北魏時代の六朝楷書体で書かれたものに決定しました。素敵な題字に仕上げてくださいました。ありがとうございます。



創部当時の吹奏楽部（創立100周年記念誌より）

昭和三十七年、確か一年生の夏の頃だっ
たと思います。当時、吹奏楽への憧れを断
ち切れずにいた私は、たまたま校長室にい
た高石校長先生を校庭から見かけ、ダメ元
で創部を懇願し、その夢が叶ったのは翌年、
二年生の春でした。校長先生の働きかけで、
東京の同窓会から二十一万円の寄付をいた
だき、念願の吹奏楽部がスタートしました。
部長は言い出しっぺの私、部員数は女子二
名を含む十二名、楽器はトランペット・ホ
ルン・トロンボーン・ユーフォonium・ク
ラリネット・フルート・ドラム（大・小）
のみという極めて貧相な編成でしたが、何
せ安芸高では初めてのこと、珍しさも手伝っ
て、みんなそれなりに頑張っ

たように思
います。
顧問は、
音楽専科で
新しく赴任
された横田
先生（女性）
でしたが、
吹奏楽の経
験がなく、
技術面の指
導は高知市
中種にあったミレナ楽器の吉川さん（高知
商OB）が担当、ロングトーンやタンギン
グなど、基礎基本を徹底的にやらされまし
た。練習の合間に、そのころ流行のラゲタ
イムバンドのマネをするなど、日々時折の
手抜きもなぜか見破られ、よく叱られてい
たことを覚えています。
その年の秋、野球部が四国大会で準優
勝、センバツ出場が決まり、翌三十九年
の春、私たちも甲子園の舞台で演奏するこ
とになりました。センバツの一回戦は、岐
阜県に七―で勝ち、そして迎えた二回戦、
相手は兵庫の市立西宮高校でした。試合は
善戦空しく二―七で敗れましたが、演奏の
方は終始圧倒されっぱなしの完敗でした。
スーザフォンがずらりと並び、ハイレベル
で迫力ある圧巻の演奏に比べ、我が吹奏楽
部はまるでチンドン屋。途中、あほらしく
なって相手の演奏にしばし聞き惚れていた
こと、また、報道記者のインタビュで持
ち曲数を聞かれた時、実際ともに演奏で
きたのは、四曲（校歌・若い力・海兵隊・
錨を上げて）しかなかったのに、甲子園の
雰囲気にもまれ、思わず恰好つけて、「十
五、六曲」と答え、その後しばらく自責の
念にかられたことも、今は懐かしい思い出
です。

回想

吹奏楽部創部から選抜出場まで

第16回昭和40年普通科卒業

山岡豊明

学校生活における部活動の思い出は、人生の宝です。本校に
は、昭和の時代から長く続いている部活動があります。
今回は、創部当時の思い出を記していただきました。



平成29年度合格先一覧

| 国公立 | | 私立 | |
|-----------------------|---|------------------|---|
| 京都府立大学 | 1 | 国学院大学 | 1 |
| 京都府立医科大学 | 1 | 神戸国際大学 | 1 |
| 愛媛大学 | 1 | 大阪経済法科大学 | 1 |
| 徳島大学 | 1 | 大阪歯科大学 | 1 |
| 高知大学 | 4 | 関西大学 | 1 |
| 高知県立大学 | 4 | 花園大学 | 1 |
| 高知工科大学 | 1 | 奈良大学 | 1 |
| 下関市立大学 | 1 | 流通経済大学 | 1 |
| | | 桃山学院大学 | 1 |
| | | 京都外国語大学 | 1 |
| | | 京都ノートルダム女子大学 | 1 |
| | | 京都光華女子大学 | 2 |
| | | 京都文教大学 | 1 |
| | | 大谷大学 | 1 |
| | | 就実大学 | 1 |
| | | 美作大学 | 1 |
| | | 福山大学 | 1 |
| | | 安田女子大学 | 1 |
| 専門学校 | | 公務員 | |
| 東京アナウンス学院専門学校 | 1 | 岡山理科大学専門学校 | 1 |
| 東京山手メディカルセンター附属看護専門学校 | 1 | 高知福祉専門学校 | 1 |
| 中部楽器技術専門学校 | 1 | 穴吹動物看護カレッジ専門学校 | 1 |
| 京都芸術デザイン専門学校 | 1 | 高知病院附属看護学校 | 4 |
| 関西理容美容専門学校 | 2 | 高知高等技術学校 | 1 |
| 辻学園調理・製菓専門学校 | 1 | 土佐リハビリテーションカレッジ | 4 |
| 高津理容美容専門学校 | 1 | 近森病院附属看護学校 | 1 |
| 大阪スクールオブミュージック専門学校 | 1 | 土佐情報経理専門学校 | 1 |
| 行岡医学技術専門学校 | 1 | 国際デザイン・ビューティカレッジ | 1 |
| | | 龍馬看護ふくし専門学校 | 1 |
| | | 広島工業大学 | 1 |
| | | 広島経済大学 | 1 |
| | | 松山大学 | 3 |
| | | 四国学院大学 | 4 |
| | | 徳島文理大学 | 5 |
| | | 短期大学 | |
| | | 日本歯科大学東京短期大学部 | 1 |
| | | 名古屋文理大学短期大学部 | 1 |
| | | 四天王寺大学短期大学部 | 1 |
| | | 徳島文理大学短期大学部 | 2 |
| | | 美作大学短期大学部 | 1 |
| | | 四国大学短期大学部 | 1 |
| | | 四国職業能力開発大学校 | 1 |
| | | 高知学園短期大学 | 6 |
| | | 就職 | |
| | | 中国家常菜鳳龍菜館 | 1 |
| | | 澁谷食品株式会社 | 1 |
| | | 株式会社コマキ | 1 |
| | | 安田町役場 | 1 |
| | | 馬路村役場 | 1 |
| | | 海上保安学校 | 1 |
| | | 一般曹候補生 | 1 |
| | | 自衛官候補生 | 2 |

平成30年度 スポーツ・文化部活動成績一覧 (県大会以上抜粋)

《陸上競技部》

- 〈高校〉
◆高知県高等学校体育大会
【男子】
100m 第1位 中島濤哉(6-4)
200m 第1位 中島濤哉(6-4)
800m 第4位 竹崎太一(6-2)
走幅跳 第3位 江村一輝(5-1)
4×100R 第2位
中島濤哉(6-4)・江村一輝(5-1)
原 和史(5-1)・竹崎太一(6-2)
4×400R 第2位
原 和史(5-1)・竹崎太一(6-2)
尾原光一(4-2)・中島濤哉(6-4)
◆四国高等学校新人選手権大会
【男子】
100m 第4位 江村一輝(5-1)
5000m 第7位 加藤史也(4-1)
【女子】
走幅跳 第8位 小野沙月(5-1)
三段跳 第5位 小野沙月(5-1)
◆高知県高等学校新人選手権大会
【男子】
100m 第2位 江村一輝(5-1)
800m 第3位 岩元友希(5-2)
5000m 第2位 加藤史也(4-1)
400mH 第2位 原 和史(5-1)
【女子】
5000mW 第2位 島内里緒(5-3)
走幅跳 第1位 小野沙月(5-1)
◆全国高等学校駅伝競走大会高知県予選
【男子】第5位
加藤史也(4-1)・竹崎太一(6-2)
林 航平(4-1)・森本 凧(4-1)
堀川雅斗(4-2)・倉橋弘汰(4-2)
島村 暢(5-3)
◆高知県中学校総合体育大会
【男子】
400m 第1位 清岡拓海(3-1)
【女子】
100m1年 第1位 中島夢乃(1-1)
100m2年 第3位 谷 青夏(2-2)
100mH 第3位 谷 青夏(2-2)
◆高知県中学校新人陸上競技選手権大会
【男子】
100m1年 第1位 松村 成(1-2)
【女子】
100m1年 第1位 中島夢乃(1-1)
100m2年 第3位 谷 青夏(2-2)
200m 第1位 中島夢乃(1-1)
100mH 第1位 谷 青夏(2-2)
4×100mR 第1位(大会新記録51秒4)
谷 青夏(2-2)・中島夢乃(1-1)
野島梨花(1-2)・大石梨華子(1-1)
- ## 《サッカー部》
- ◆高知県高等学校体育大会
1回戦 安芸1-1清水
(PK3-5)
◆高知県高等学校秋季大会
1回戦 安芸0-1須崎
- ## 《男子バスケットボール部》
- ◆高知県高等学校体育大会
1回戦 安芸89-70丸の内
2回戦 安芸54-101岡豊
◆高知県高等学校秋季大会
1回戦 安芸93-42土佐塾
2回戦 安芸66-86東工
◆安芸地区中学校夏季体育大会
第2位 県立安芸・市安芸(2勝1敗)
*高知県中学校体育大会に出場
◆高知県中学校総合体育大会
1回戦 県立安芸・市安芸28-64青柳
◆高知県中学校秋季大会
1回戦 県立安芸・市安芸96-33介良
2回戦 県立安芸・市安芸44-54高知
- ## 《女子バスケットボール部》
- ◆高知県高等学校体育大会
1回戦 安芸64-35宿毛
2回戦 安芸100-27山田
3回戦 安芸6-209中央
◆高知県高等学校冬季大会
1回戦 安芸75-40佐川
2回戦 安芸49-86中村
◆安芸地区中学校夏季体育大会
第4位 県立安芸・清水ヶ丘(3敗)
- ## 《野球部》
- ◆高知県高等学校体育大会
1回戦 安芸5-2伊野商
2回戦 安芸1-15高知
◆全国高等学校野球選手権高知県大会
1回戦 安芸0-7高知東
◆秋季四国地区高等学校野球大会高知県予選
1回戦 安芸3-1桜ヶ丘
2回戦 安芸1-6高知工
◆高知県中学校選手権大会
1回戦 県立安芸4-2薫ヶ池
2回戦 県立安芸0-6香長
◆高知県中学校新人球技大会安芸地区予選
予選リーグ
県立安芸・清水ヶ丘1-0芸西
県立安芸・清水ヶ丘2-0佐喜浜・室戸
決勝戦
県立安芸・清水ヶ丘1-5馬路・安田・田野
*高知県中学校選抜野球大会へ出場
- ## 《男子ソフトボール部》
- ◆高知県高等学校体育大会
1回戦 安芸2-32高知農
◆高知県高等学校冬季大会
1回戦 安芸7-14高知商
- ## 《ソフトテニス部》
- ◆高知県高等学校体育大会
男子団体 1回戦 安芸0-3高知商
女子団体 2回戦 安芸1-2学芸
女子個人 3回戦 中川智花(6-4)
由比桃香(6-2)
◆高知県高等学校秋季大会
【女子】団体 1回戦 安芸0-3幡多農
【女子】個人 2回戦
岳本彩葉(4-1)・濱渦萌花(4-1)
公文美咲(4-3)・千光士晶(4-2)
◆高知県高等学校冬季大会
【女子】団体 1回戦 安芸0-1高知工
【女子】個人 2回戦
岳本彩葉(4-1)・濱渦萌花(4-1)
公文美咲(4-3)・千光士晶(4-2)
◆第9回チャレンジカップ
【女子】個人 予選リーグ 2勝
岳本彩葉(4-1)・濱渦萌花(4-1)
決勝トーナメント進出
公文美咲(4-3)・千光士晶(4-2)
- ## 《女子バレーボール部》
- ◆高知県高等学校体育大会
予選 安芸0-2小津
安芸2-0土佐塾
1回戦 安芸0-2追手前
- ## 《体操競技部》
- ◆高知県高等学校春季大会
女子団体総合 第1位
栗山陽菜(6-2)・松岡真代(6-3)
山下果耶葉(6-4)
女子個人総合
第3位 山下果耶葉(6-4)
女子跳馬 第1位 栗山陽菜(6-2)
女子平均台 第1位 栗山陽菜(6-2)
◆高知県高等学校体育大会
1部女子団体総合 第2位
栗山陽菜(6-2)・松岡真代(6-3)
山下果耶葉(6-4)
1部女子個人総合
第3位 山下果耶葉(6-4)
第4位 栗山陽菜(6-2)
第6位 松岡真代(6-3)
女子跳馬 第1位 山下果耶葉(6-4)
*以上、四国大会出場
山下果耶葉・栗山陽菜は、全国高校総体に出場
◆国民体育大会四国ブロック大会
【女子】団体総合 第4位 高知県
高知県代表選手：山下果耶葉(6-4)
◆四国中学校総合体育大会
【男子】個人総合
第25位 山下颯大(3-1)
◆高知県中学校総合体育大会
【1部女子】団体総合 第2位
上田綺音(2-1)・岡林せりか(2-1)
竹崎満風(2-1)・服部愛奏(2-2)
【1部男子】個人総合
第3位 山下颯大(3-1)
- ## 《弓道部》
- ◆高知県高等学校春季大会
女子個人 第4位 工藤繁美(5-1)
第7位 久武優貴乃(4-2)
◆高知県高等学校体育大会
女子団体 第6位

- 工藤繁美(5-1)・伊藤 萌(5-2)
大井姫菜子(5-3)・松本ゆずか(6-3)
小松咲千香(4-1)・久武優貴乃(4-2)
樋口稚奈(6-2)
◆高知県高等学校夏季大会
【女子】個人 第3位 伊藤 萌(5-2)
◆高知県高等学校冬季大会
【女子】団体 優勝
伊藤 萌(5-2)・大井姫菜子(5-3)
小松咲千香(4-1)・工藤繁美(5-1)
和田亜弓(5-3)
*全国高等学校選抜大会へ出場
【女子】個人 優勝 伊藤 萌(5-2)
*全国高等学校選抜大会へ出場
- ## 《卓球部》
- ◆高知県高等学校体育大会
女子ダブルス ベスト16
秋山千愛(4-1)・山本彩加(6-2)
女子シングルス ベスト8
秋山千愛(4-1)
*以上、四国大会出場
◆全国高等学校選抜大会高知県予選
【女子】シングルス 優勝
秋山千愛(4-1)
*全国高等学校選抜大会へ出場
- ## 《剣道部》
- ◆高知県高等学校春季大会
男子個人
3回戦 山田雅史(6-2)
2回戦 佐伯大翔(5-2)
◆高知県高等学校冬季大会
団体戦
1回戦 安芸3-0小津B
2回戦 安芸0-5明德義塾
◆昇段審査会
初段合格
小松月希矢(3-2)・齋藤美桜(4-1)
二段合格
濱田一花(2-1)・松本りか(5-3)
◆安芸地区中学校夏季体育大会
男子団体 第2位
男子個人 第3位 西岡航輝(3-2)
女子個人 第3位 濱田一花(2-1)
*高知県中学校体育大会に出場
- ## 《バドミントン部》
- ◆高知県高等学校体育大会
男子ダブルス
3回戦
武内克親(4-1)・谷本直優(4-1)
男子シングルス
3回戦 谷本直優(4-1)
2回戦 前田英太(5-3)
2回戦 武内克親(4-1)
◆安芸地区中学校夏季体育大会
男子シングルス
第1位 山本和史(3-2)
第2位 有澤冬青(3-2)
第3位 安藝朋也(3-1)
第4位 宮原皓志(3-1)
女子シングルス
第1位 山崎和香(2-2)
第2位 有澤夏穂(3-1)
第3位 小松希実(2-1)
第4位 加納悠生(3-2)
*高知県中学校体育大会に出場
◆安芸地区中学校男子駅伝大会
第2位 県立安芸A(県立安芸Aは高知中学校
駅伝競走大会へ出場)
◆安芸地区中学校女子駅伝大会
第3位 県立安芸A(県立安芸Aは高知中学校
駅伝競走大会へ出場)
◆高知中学校駅伝競走大会
【男子の部】 第26位
【女子の部】 第25位
- ## 《競技かるた同好会》
- ◆全国高文連小倉百人一首かるた四国地区大会
団体 第4位
門脇まりな(6-2)・川村樹生(6-1)
久保志保(6-1)
*全国高等学校総合文化祭に出場
- ## 《計算実務・ワープロ部》
- ◆全国高等学校珠算・電卓競技大会高知県予選
珠算団体 第1位
樋口稚奈(6-2)・山崎宏一郎(5-1)
大塚澄伶(4-1)
珠算男子個人
第2位 山崎宏一郎(5-1)

- 珠算女子個人
第1位 大塚澄伶(4-1)
第2位 樋口稚奈(6-2)
- ## 《吹奏楽部》
- ◆高知県吹奏楽コンクール
中学校B部門 銀賞
高等学校B部門 金賞
*全日本吹奏楽コンクール四国大会へ出場
◆全日本吹奏楽コンクール四国大会
高等学校B部門 金賞
◆下八川圭祐記念高知音楽コンクール
奨励賞 山本愛菜(4-2)
◆全国高等学校文化祭へ出場
サクソフォン 久保心音(5-3)
トロンボーン 野本瑠璃(5-3)
◆高知県器楽コンクールその他の楽器部門
優秀賞 河野心温(2-2)
優良賞 大坪里緒(2-1)
優良賞 柳原佳歩(3-2)
◆全日本アンサンブルコンテスト高知県大会
銅賞 混成4重奏
山崎萌木(3-2) 西 愛華(3-2)
稲田紗枝(3-2) 河野心温(2-2)
銀賞 フルート3重奏
柳原佳歩(3-2) 大坪里緒(2-1)
山崎梨胡(1-1)
銀賞 クラリネット4重奏
谷 更紗(4-3) 山本愛菜(4-2)
酒井優衣(4-1) 宗園このみ(3-1)
- ## 《書道部》
- ◆文教文化賞文協奨励賞
県立安芸中・高等学校書道部
◆全国高等学校総合文化祭
書道部門 特別賞 小原桃果(5-1)
◆高知県児童生徒表彰(前期)
中村一成(6-2)・梶原有未(5-3)
春名真優(4-1)
◆高野山読書大会
金剛峯寺賞 梶原有未(5-3)
高野山総長賞 植田沙也加(6-3)
南山賞 加納穂菜(5-3)
団体努力賞
◆高円宮杯日本武道館書道大展開覧会
朝日新聞社賞 春名真優(4-1)
テレビ朝日賞 梶原有未(5-3)
審査委員長奨励賞 中村一成(6-2)
◆富士山学生書道展
大賞 春名真優(4-1)
準大賞 小原桃果(5-1)
優良団体賞
◆国際高校生選抜書展(書の甲子園)
入選
小原桃果(5-1)・梶原有未(5-3)
春名真優(4-1)・井上夢妮乃(4-2)
◆JA共済全国小中学生書道コンクール高知県大会
銀賞 楠瀬桃花(1-1)
佳作 岡田ひなた(1-1)
◆岡田山記念全国書展
辻山奨励賞
小松 瞳(5-2)・梶原有未(5-3)
加納穂菜(5-3)
褒状
小原桃果(5-1)・春名真優(4-1)
◆安芸市美術展覧会
努力賞 梶原有未(5-3)
新人賞 小原桃果(5-1)
◆高知県高等学校総合文化祭高校書道展
奨励賞
梶原有未(5-3)・春名真優(4-1)
*梶原有未が全国高等学校総合文化祭佐賀大会へ出場
◆全国学生書道展
全国学生書道展大賞 梶原有未(5-3)
70回記念賞 岡田ひなた(1-1)
- ## 《その他各種コンテスト・展覧会》
- ◆人権作文コンテスト高知県大会
入選 山岡しおり(6-2)
◆新聞感想文コンクール
優良 柿本理緒奈(6-4)
◆こども県展
毛筆の部 推薦 楠瀬桃花(1-1)
硬筆の部 特選
岡田ひなた(1-1)・上村菜心(1-1)
楠瀬桃花(1-1)・山本真瑚(1-1)
本田唯夏(3-2)
◆第8回よさこいカップ(英語学習入門期の高校生のための英語ディベート大会)
準優勝 小原光希(5-1)・原和史(5-1)
影山杏花(5-2)・祝明日(5-3)